

わたしらしくを人生の最期まで

病状に回復の見込みがなく、命の灯が消え去ろうとしているときでも、現代の医療は意識のないあなたを生かし続けることが可能です。人工呼吸器をつけて酸素を送り込み、胃に穴をあける胃ろうを装着して栄養を与えます。ひとたびこれらの延命措置を始めたら、それがあなたの体を苦しめ、あなたの家族を悩ますことになって、はやすことは容易ではありません。生命維持装置をはずせば死に至るからです。「あらゆる手段を使って生きていたい」と思っている方の意思も尊重されるべきことです。しかし、自分が望まない延命治療を受けないようにするためには、あなたの想いを「かたち」にしておくことが大切です。リビング・ウィルとは「生きているうちに有効となるいのちの遺言書」です。法律で定められているものではありませんが「自分のいのちが回復不可能な最終段階であれば、延命処置は控え、苦痛を取り除くことを最善にして安らかな最期を迎えたい」という願いをご家族や医療が尊重する手助けになります。あなたの希望を○印で記し、ご家族にも伝えておきましょう。

くわたしのいのちが回復不可能な終末期をむかえたときは>

1. 心臓マッサージ、人工呼吸器など生命維持のための最大限の治療を希望する
2. 人工呼吸器などは希望しないが、高カロリー輸液や胃ろうなどによる継続的な栄養補給を希望する
3. 継続的な栄養補給は希望しないが、点滴などによる水分補給は希望する
4. 上記の延命処置は行わず、苦痛を取り除くことを最善にして自然に最期をむかえたい
5. その他

()

記入年月日 年 月 日

本人署名

家族署名

(続柄：)

○このシートは人生の集大成のときに自分らしくありたい想いを「かたち」にしておくものです。

○記入後に気持ちの変化が起きることもあります。そのときは何度でも書き直してよいものです。

○終末期の医療の必要性は、個々の病気や病状によっても異なります。病名・病状の十分な説明を受け、納得した上で考えることも大切です。

わたしらしくを人生の最期まで

病状に回復の見込みがなく、命の灯が消え去ろうとしているときでも、現代の医療は意識のないあなたを生かし続けることが可能です。人工呼吸器をつけて酸素を送り込み、胃に穴をあける胃ろうを装着して栄養を与えます。ひとたびこれらの延命措置を始めたら、それがあなたの体を苦しめ、あなたの家族を悩ますことになって、はやすことは容易ではありません。生命維持装置をはずせば死に至るからです。「あらゆる手段を使って生きていたい」と思っている方の意思も尊重されるべきことです。しかし、自分が望まない延命治療を受けないようにするためには、あなたの想いを「かたち」にしておくことが大切です。リビング・ウィルとは「生きているうちに有効となるいのちの遺言書」です。法律で定められているものではありませんが「自分のいのちが回復不可能な最終段階であれば、延命処置は控え、苦痛を取り除くことを最善にして安らかな最期を迎えたい」という願いをご家族や医療が尊重する手助けになります。あなたの希望を○印で記し、ご家族にも伝えておきましょう。

くわたしのいのちが回復不可能な終末期をむかえたときは>

1. 心臓マッサージ、人工呼吸器など生命維持のための最大限の治療を希望する
2. 人工呼吸器などは希望しないが、高カロリー輸液や胃ろうなどによる継続的な栄養補給を希望する
3. 継続的な栄養補給は希望しないが、点滴などによる水分補給は希望する
4. 上記の延命処置は行わず、苦痛を取り除くことを最善にして自然に最期をむかえたい
5. その他

()

記入年月日 年 月 日

本人署名

家族署名

(続柄：)

○このシートは人生の集大成のときに自分らしくありたい想いを「かたち」にしておくものです。

○記入後に気持ちの変化が起きることもあります。そのときは何度でも書き直してよいものです。

○終末期の医療の必要性は、個々の病気や病状によっても異なります。病名・病状の十分な説明を受け、納得した上で考えることも大切です。